

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

2025年9月11日(木)に、「第13回 認知科学若手の会ワークショップ」を東京大学で開催いたします。認知科学若手の会ワークショップは、若手の研究発表を中心としたさまざまな企画を通じ、若手が交流できる場として運営されています。

今回は、認知科学会第42回大会の前日に開催する運びとなりました。口頭発表・ポスター発表・ライトニングトーク(LT)の枠をご用意しておりますので、発表の練習を含めた若手同士の研究交流の場として、ぜひご参加ください。

本ワークショップでは、「若手が認知科学の研究発表を積極的に行える場を作ること」を趣旨とし、若手同士の交流・協同を触発することを目指しております。大学院生やポスドクの方はもちろん、まだ研究をしたことのない高校生・学部生の方も歓迎しております。どうぞお気軽にご参加ください。

[参加申込フォーム\(Google Form\)](#)

* 今回はオンライン会場を設けておりません。ご了承ください。

プログラム

最終更新: 2025年8月12日

9月11日(木) 11:00~17:30(10:30 教室開放)

・場所: 東京大学 本郷キャンパス 法文2号館2番大教室

[アクセスマップ](#)

10:30-11:00	教室開放・受付
11:00-11:10	開会
11:10-12:25	口頭発表セッション1
11:10-11:35	[O1]仲沢 実桜(東京大学) 異なる意見の統合にビジュアルが与える影響—グラフィックファシリテーション実践を対象とした相互作用分析— 個人間における意見などの対立(conflict)の解決を探究する先行研究では、対立相手の意見と直面して相容れない視点を統合する論争の方法が提唱されている。本研究ではそのような異なる意見が統合する際にビジュアルが及ぼす影響を明らかにすることを目指す。データ取得のため、参加者を公募してグラフィックファシリテーション実践を実施した。その際に参加者から研究

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

	<p>協力に伴う説明のもと許諾を得た。映像データをもとに相互作用を分析した結果、異なる意見が1つのビジュアルに混淆したものとして具象化し、参加者は意見が異なることを認識しないままそのビジュアルに共同創作感を抱くという新たな意見統合のプロセスが明らかになった。これはビジュアル・ナラティブ研究で示されてきたビジュアルによって新たな見方が生じるという影響と関連すると考えられる。</p>
11:35-12:00	<p>[O2]佐野貴紀(東京大学) 顔印象評価の動的変容: ベイズ的信念更新に基づく分析 本研究では、顔の魅力や性らしさといった印象評価が経験に応じて動的に変化する過程をベイズ推論の枠組みで検討した。系統的に操作した顔画像を用いた心理物理実験により、刺激暴露前後で評価と確信度の変容を測定し、数理モデルに適合させた。顔印象の動的な変容過程について検討するとともに、今後の展開について議論する。</p>
12:00-12:25	<p>[O3]永原新也(東京大学) 駅伝における流れがもたらす商業的価値: 競技ダイナミクスと観客の相互作用 2025年、東京で34年ぶりに世界陸上が開催されるが、陸上競技は依然として商業化が難しいスポーツ種目の一つとされる。世界陸上やオリンピックは一時的に大きな注目を集めるものの、競技の単調さや見せ場の限界から、継続的な人気獲得には課題が残っている。これに対し、日本の箱根駅伝は年末年始の風物詩として社会的に定着し、商業的にも大きな成功を収めてきた。本研究は、その背景要因としてしばしば言及される「流れ」に着目する。「流れ」が弱小校の躍進を可能にする競技的ダイナミクスであると同時に、観客や視聴者にとっても強い物語性や感情的没入を喚起し、集団的な熱狂を生む心理的基盤となっていることを、認知科学的な視点から議論する。</p>
12:25-13:25	<p>昼食休憩</p>
13:25-14:15	<p>口頭発表セッション2</p>
13:25-13:50	<p>[O4]戸村友香(慶応義塾大学) 楽観性が初期信念の保持に与える影響 人は初期に形成された信念を保持しやすく、その修正には新たな経験が必ずしも十分に活用されないことが知られている。Sharotらによる信念更新研究は、楽観性が将来予測の訂正において新情報の取り込みを選択的に歪めることを示してきた。本研究では、こうした予測課題とは異なり、報酬と罰の出現順序を操作したカード選択課題を用いることで、経験に基づく初期信念の保持・更新に焦点を当てた。大学生18名を対象とした分析の結果、楽観性の高い者ほどポジティブな初期信念を維持する傾向が認められた。この知見</p>

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

	は、楽観性が学習や意思決定の初期段階におけるバイアスとして作用する可能性を示唆する。
13:50-14:15	<p>[O5] 工藤日南子(山梨大学)</p> <p>アカウントの複数所有に着目した誤情報拡散メカニズムの検討</p> <p>インターネット上の誤情報拡散(misinformation spreading)が社会問題となっている。これまで、誤情報拡散への評価や行動は、個人内で一定であることを前提に検討がなされてきた。しかし、いわゆる「裏アカ」のように、現代のSNSでは個人が複数のアカウントを使い分け、異なる人物として振る舞うことが可能である点は無視できない。本発表では、誤情報拡散への評価や行動に関連する個人差要因、およびアカウントの複数所有と「自己多元性」の関連について、発表者がこれまでに行った研究を紹介する。その上で、アカウントを使い分けることが誤情報拡散とどう関連するかについて、今後の研究計画を報告する。</p>
14:15-14:30	調整・休憩
14:30-15:10	ポスターセッション
	<p>[P1] 福地庸介(東京都立大学)</p> <p>能動的推論としての確証的SNS 探索の認知モデル化の試み</p>
	<p>[P2] 張 銘一多(千葉大学)</p> <p>対話型ゲームAIとの会話でユーザの「修復行動」の特徴</p>
	<p>[P3] 西川純平(岡山県立大学)</p> <p>認知モデルベースロボットによる支援に向けた子どもの反応のアノテーション指針に関する検討</p>
	<p>[P4] 隅田莉央(東京大学)</p> <p>選択肢を広げる探索は後悔によって駆動されるか？：実験室実験による予備的検討</p>
	<p>[P5] 高橋奈里(名古屋市立大学)</p> <p>対向配置された左右指に対する同期的接触の影響</p>
	<p>[P6] 前田弥子(国土舘大学)</p> <p>カフェイン摂取がグループ発話の活発度に及ぼす影響</p>
	<p>[P7] 易 志(東京大学)</p>

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

	Bridging the Gap: From Adult Interoception to Infant Research-Investigating the Link Between Maternal and Infant Interoceptive Sensitivity
	[P8] 笠野 純基(北陸先端科学技術大学院大学) 階層構造の操作が他者の心的内容の推測を多様にするか:AI ツールを用いたテキストマイニングの分析計画
	[P9] 長島一真(静岡大学) 不安が右折判断に及ぼす影響のACT-Rモデリング
	[P10] 根本悠樹(京都大学) 不可視な空間に対するエージェントの存在可能性の投射を促進 する空間構成の幾何学的な特徴量の記述
	[P11] (発表キャンセル)
	[P12] 二階堂沙耶(名古屋大学) 顔皮膚血流の実装が人工エージェントの人間らしさに与える影 響の検討
	[P13] 岩田叡治(東京大学) 包括的合理的思考アセスメントにおける陰謀論信念との関連要 因: 日本における追試的検討
	[P14] 佐々木一洋(東京大学) 知的選好と歴史に関する文章に見出す面白さの関連
15:10-15:25 15:10-15:35	調整・休憩
15:25-16:05 15:35-16:15	ライトニングトークセッション1
15:25-15:35 15:35-15:45	[LT1] 長谷川大(北陸先端科学技術大学院大学) テトリス認知科学
15:35-15:45 15:45-15:55	[LT2] 藤木泉(お茶の水女子大学) 皮膚と関節におけるスライムハンド錯覚の強度の比較

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

15:45-15:55 15:55-16:05	[LT3] 亀谷長太(電気通信大学) 言語芸術の美的効果はなぜ生まれる?—計算論的アプローチで迫る—
15:55-16:05 16:05-16:15	[LT4] 朱 文俊(慶應義塾大学) アハ体験を感じやすい人の心拍
16:05-16:15 16:15-16:25	[LT5] 秦慕君(北陸先端科学技術大学院大学) 疎外感の相互受容による肯定的意味づけ
16:15-16:25 16:25-16:35	調整・休憩
16:25-17:05 16:35-17:15	ライトニングトークセッション2
16:25-16:35 16:35-16:45	[LT6] 山本輝太郎(金沢星稜大学) 大学教育における生成AIの利活用について
16:35-16:45 16:45-16:55	[LT7] 桑水隆多(筑波大学) 外言・内言中の瞳孔動態
16:45-16:55 16:55-17:05	[LT8] 服部エリー・彩矢(慶應義塾大学) 観点の相違度が製品の創造性評価に与える影響
16:55-17:05 17:05-17:15	[LT9] 櫃割仁平(ヘルムートシュミット大学) 「災害を防ごう」vs.「四季を守ろう」:どちらのメッセージが環境への意識を上げるか?
17:05-17:15 17:15-17:20	調整・休憩
17:15-17:35 17:25-17:35	閉会式・記念撮影
18:00- 19:00-	ナイトセッション (懇親会:要事前申込) 和食ごはんと酒 縁 本郷三丁目店 📍 Yukari 懇親会参加費:一律3500円

第13回 認知科学若手の会ワークショップ

ご案内

○会場内の Wi-Fi について

会場のインターネット環境につきましては、誠に恐れ入りますが、本研究会は学生有志による運営であり、ゲスト用のアカウント等は発行いたしかねます。ただし、教育機関にご所属の方はeduroamをご利用いただけます。

eduroamの利用者向け情報につきましては、下記をご覧ください。

https://www.eduroam.jp/for_users/

○懇親会費の支払い方法について

受付時に現金またはPayPayでお願いいたします。

○お手洗いについて

法文2号館内にございます。

○会場内の飲食について

特段禁止されておりません。軽食等であればお取りください。